



りょうか 鈴夏ちゃん(平成18年5月14日生)
両親=多田芳春・佐衣子さん〔松ヶ谷〕
「あんぱんまん だあーいすき♡」



ゆうが 悠雅ちゃん(平成17年9月7日生)
両親=角田 健・恵里佳さん〔泉川〕
「ハーレーかっていいでしょ♡
外で遊ぶの大好きなの!!」



ほのか 帆風ちゃん・かれん 風怜ちゃん・はやと 颯斗ちゃん
(平成12年9月8日生・平成16年10月20日生・平成14年9月22日生)
両親=品村善三・祐子さん〔鎌数〕
「なかよし ヲきょうだい♡
今年は揃って七五三!!」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室―旭モノ語り―第二十四回

シゴハチ



▲C58の引渡式(昭和46年・中央児童遊園)

「俺の名前は、日本国有鉄道C58形蒸気機関車 C58 217号。みな親しみをこめて「シゴハチ」と呼ぶ。昭和十五年四月十四日生まれ。体重は七十二トン。軽快さと重厚感を合わせ持った雰囲気のあるスタイルが自慢だ。最高速度は時速八十五キロ、客車よし、貨物よし、地方線の親分として感じて、現役のころは大活躍だった。総武本線、成田線など千葉県内はとにかくよく走った。その距離ざつと百六十五万キロ、月まで二往復つてころだ。」

「兄弟は全部で四百二十七両、俺は二百七番目につくられたから、217号の名前がついてる。今も全国各地の公園などで約五十台が生き残っている。うち秩父鉄道に在一両なんて、最近また走ってるって話だ。俺の場合、現役引退後はなじみの旭で過ごすことになった。ここ中央児童遊園に来るまでのことはちょっとした自慢だ。」

「当時の国鉄関係者が、廃棄される予定の俺を『つぶすなんてもつたない!』と保存を呼びかけ、運よく旭市が受け入れを決めてくれた。その上、本当なら軀体はいいったんバラバラに解体されちゃうはずだった。そこを国鉄と地元のがんばりで、なんと本線から仮設の線路を敷き、そ

のまの姿でここまで運んでくれたんだ。こんなこと、今じゃ信じられないだろう。昭和四十六年六月の盛大な引渡式も忘れられない思い出だ。」
「旭市SL保存会にはお世話になっている。国鉄OBなどがメンバーで、実際に運転や整備に携わった人たちが、今も変わらず俺の面倒をみてくれる。最近では若い人もいる。うれし限りだ。」

「六十七歳を迎えた今年は、大改修をしてもらった。先月は、SLまつりでこの漆黒ボディをお披露目。鉄道ファンだけじゃなく、たくさんの子どもの姿、記念撮影の順番待ちの行列に、それは感激したよ。これからは旭で快適な引退生活を送れたらと願ってる。」

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 14日(土) 矢指ヶ浦・飯岡海水浴場オープン(～8月19日(日))
ミスセタコンテスト(13:30～ 東総文化会館)
- 16日(月) 海の日
- 21日(土) サマーフェスタin矢指ヶ浦2007(10:00～ 矢指ヶ浦海水浴場)
飯岡海浜プールオープン(～8月26日(日))
- 22日(日) 旭市いいおか港・水産まつり2007(10:00～ いいおかみなと公園ほか)
- 28日(土) いいおかYOU・遊フェスティバル2007(～29日(日)) 飯岡海岸ほか)

編集後記

蒸気機関車C58が展示保存されている中央児童遊園で、六月二日に「SLまつり」が開かれました。そのSL、以前はあたりまえのように日本全国を走っていました。それも時代の移り変わりで現在では、一部の例外を除いて走ることはなくなりました。でもSLには、ただ単に昔の古い鉄道車両というだけではない、魅力があります。まつり会場で国鉄のSL機関士だった方に聞いた話です。「SLの運転は電車とはまったく違う。機械というより生き物を扱うような感覚に近い」と。(一)